



商工中金



日本政策金融公庫

令和 4 年 10 月 27 日
福岡銀行 田主丸支店
商工組合中央金庫 船場支店
日本政策金融公庫 大阪支店

農業も元気に！野菜カット工場を新設！

～福岡銀行、商工中金、日本公庫が協調支援～

福岡銀行田主丸支店、商工組合中央金庫船場支店（略称：商工中金）及び日本政策金融公庫大阪支店農林水産事業（略称：日本公庫）の3機関は、株式会社ファーストダウン（久留米市：白井雄樹代表）と対話を重ねて事業性を評価し、カット野菜の新工場建設に対して、協調して融資支援しました。

福岡県朝倉市の新工場は、令和5年夏頃の完成・本格稼働を目指します。

○ 原料へのこだわりと事業の持続可能性を追求

ファーストダウンは、カット野菜の販売を行うフードニア株式会社（大阪市：白井雄樹代表）の製造部門として平成28年に設立。経営理念「食の事業を通じて縁ある人を幸せにする」を掲げ、久留米工場（福岡県）および綾部工場（京都府）の自社2工場では生食用サラダなどカット野菜を生産しています。国産原料にこだわった商品や、バイヤーの要望にきめ細かく応える商品開発力は取引先からも定評があり、関西から九州にかけて徐々に業容を拡大しています。

特に原料となる野菜の品質は同社商品の生命線であり、日本全国の農業者やJAと商談して歩き、生産現場の協力を得て、自社だけでなく取引先や消費者が納得できる高品質の野菜を安定的に調達しています。同時に、農業者への鉄コンテナの貸出や物流の手配、また綾部工場ではこれまで廃棄していた食品残さの堆肥化にも取り組み、農業の生産現場まで含めた事業全体の持続可能性に配慮し事業を発展させています。

○ 増産体制整備の新工場建設に3機関が協調支援

こうした取り組みを地道に進めて、仕入・販売両面の取引先と信頼関係を構築してきたこと、また新型コロナウイルス感染症の影響により家庭向け生食用サラダの需要が増加したことから、九州での生産能力を増強すべく、福岡県朝倉市に新工場を建設することを決意。

福岡銀行、商工中金及び日本公庫の3機関は、ファーストダウンの取り組みや事業性、また新工場建設により国産野菜の取引量が増加するなど国内農業にも貢献する事業計画を高く評価。新工場建設のための設備資金10億円（総工費については非公表）について、3機関で協調して融資支援しました。

白井代表は「今日まで事業を続けてくることが出来たのは、ご支援いただく生産者の皆様、取引先の皆様、そして苦楽を共にしながら目標へ進んでくれる社員・パートナー（パートさん）、そしてそのご家族の協力のおかげです。弊社の事業発展を通じて縁ある人を幸せに、そして弊社の商品を通じて消費者の皆様に健康を届けていきたい。」と強く意気込みます。

福岡銀行、商工中金及び日本公庫は、今後も連携・協力しながら、地域の食を支える企業を、積極的に支援してまいります。

＜お問い合わせ先＞

○福岡銀行 田主丸支店 Tel：0943-72-2141（担当：西岡）
〒839-1233 福岡県久留米市田主丸町田主丸 533-8

○商工組合中央金庫 船場支店（担当：谷畑）

○日本政策金融公庫 大阪支店 農林水産事業 Tel：06-6131-0752（担当：木村、清村）
〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎 2-3-5 梅新第一生命ビルディング 8 階

【株式会社ファーストダウンの概要】

名 称	株式会社 ファーストダウン（フードニアグループ）
代 表 者	白井 雄樹
住 所	福岡県久留米市田主丸町益生田 562-1
連 絡 先	06-6684-8466 （グループ本社代表）
業 種	カット野菜製造
投資内容	新工場建設（福岡県朝倉市）
備 考	正社員の女性比率は、フードニア 96%、ファーストダウン 47%と、全企業平均 26%（厚生労働省「平成 30 年度雇用均等基本調査」）を大きく上回るなど、女性が活躍する会社です。

《グループ本社にて意気込む社員一同》



《商品》

